



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日 東

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所  
 コード番号 3747 URL http://www.itrade.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( — )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	1,141	△6.6	△35	—	△36	—	△38	—
27年9月期第2四半期	1,222	△2.7	△64	—	△67	—	△69	—

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 △45百万円( —%) 27年9月期第2四半期 △56百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	△5.35	—
27年9月期第2四半期	△9.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	2,190	1,712	78.2
27年9月期	2,327	1,756	75.5

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 1,711百万円 27年9月期 1,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	1.6	90	—	85	—	70	—	9.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	7,444,800株	27年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	259,200株	27年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	7,185,600株	27年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発を中心とする「ビジネスソリューション事業」（平成27年10月1日付でITソリューション事業から名称変更）、健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

ヘルスケア事業において、販売子会社であった株式会社健康プラザパルと株式会社ビューティーグルカンは、平成27年11月1日付で株式会社健康プラザパルを存続会社として合併しました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純損失」を「親会社株主に帰属する四半期純損失」としております。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の当社グループの連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成27年9月期 (前第2四半期)		平成28年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,222	100.0	1,141	100.0	93.4
金融ソリューション事業	961	78.6	949	83.1	98.7
ビジネスソリューション事業	167	13.7	87	7.7	52.3
ヘルスケア事業	93	7.7	105	9.2	112.5
自己資金運用事業	0	0.0	—	—	—
営業損失(△)	△64	—	△35	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	—	△38	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当社グループの連結売上高の8割以上は金融ソリューション事業の売上高であり、中でも証券会社等のディーリング（自己資金運用）業務を行う法人への売上高は、連結売上高の約3分の2を占めます。

当第2四半期においては、平成28年に入ってからの日経平均株価の下落等があったものの、東証一部上場銘柄の売買代金は前年同期（平成26年10月1日から平成27年3月31日）から1.9%増と安定的に推移し、当社の事業環境に大きな変化はありませんでした。

当第2四半期の業績は、金融ソリューション事業が減収、ビジネスソリューション事業が減収、ヘルスケア事業が増収となりました。連結では減収となったものの、営業損失額は縮小しました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 949百万円（前年同期比 98.7%）  
セグメント利益 257百万円（前年同期比 118.1%）

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、以下の表のとおりです。

## &lt;製品区分別&gt;

	平成27年9月期 (前第2四半期)		平成28年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	642	66.9	658	69.4	102.4
取引所端末	130	13.5	127	13.4	97.7
外国為替証拠金システム	83	8.7	59	6.3	71.5
取引所関連システム	90	9.4	86	9.1	95.5
その他	14	1.5	17	1.8	120.8
合 計	961	100.0	949	100.0	98.7

## &lt;売上区分別&gt;

	平成27年9月期 (前第2四半期)		平成28年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	62	6.5	27	2.9	44.3
システムインテグレーション売上	64	6.7	41	4.4	64.6
ライセンスビジネス売上	536	55.8	593	62.6	110.7
カスタマーサポート売上	298	31.0	286	30.1	95.8
合 計	961	100.0	949	100.0	98.7

## &lt;売上面&gt;

当第2四半期においては、前年同期比で1.3%の減収となりました。

- ・主力の証券ディーリングシステムが前年同期から2.4%の増収となりました。顧客証券会社の海外取引強化に基づく案件及び執行コスト削減に関する付加サービスが増収に寄与しました。一方、外国為替証拠金取引システムが前年同期から3割弱の減収となりましたが、これは利用社数の減少によるものです。
- ・売上区分別では、構成比が大きいライセンスビジネス売上が前年同期を約10%上回りました。安定収入であるライセンスビジネス売上の増収施策として、新規顧客の獲得や上述の執行コスト削減サービス等の稼働を推進しました。

## &lt;費用面&gt;

- ・費用を削減することで、若干減収となった中でも増益は確保しました。継続して実施している内製化及び業務効率化による外注費の削減が、費用減少及び増益に大きく貢献しました。
- ・大手証券会社及び外資系証券会社のニーズに応えるため、「先進的機能」「導入の柔軟性」を両立するコンポーネント販売に向けた研究開発を進めました。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 87百万円 (前年同期比52.3%)

セグメント損失 37百万円 (前年同期は34百万円のセグメント利益)

前年同期はサポートセンター分野の新規スポット案件を主因に167百万円の売上高を計上したものの、当第2四半期においては同等規模の案件が無く、前々年同期(平成25年10月1日から平成26年3月31日)のセグメント売上高83百万円をわずかに上回りました。利益面については、売上高の減少の影響が大きく、セグメント損失37百万円となりました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社、株式会社らぼおぐ及び株式会社健康プラザパルの事業です。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	105百万円 (前年同期比112.5%)
セグメント損失	95百万円 (前年同期は151百万円のセグメント損失)

販売経路の開拓を行い、当第2四半期においては、外国人向けの販売会社数社との取引を開拓するなどの成果がありました。結果として、前年同期を10%強上回る売上高を計上し、業績の改善に寄与しました。

費用面においては、広告宣伝の絞り込みやハナピラタケ生産に関わるコスト削減を行いました。また、学校法人東京女子医科大学及び国立研究開発法人産業技術総合研究所との産学官共同研究に伴う研究開発費が前年同期より少なかったことも影響し、セグメント損失が大きく減少しました。

## (自己資金運用事業)

自己資金運用事業の業績は、連結子会社である株式会社トレーダクスの業績です。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	— (前年同期は0百万円の売上高)
セグメント損失	1百万円 (前年同期は0百万円のセグメント損失)

金融ソリューション事業の主力である証券ディーリングシステムに関連する研究等を行っています。当第2四半期は前年同期と同様、若干のセグメント損失となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は前連結会計年度末に比べ137百万円減少し、2,190百万円となりました。自己資本比率は78.2%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は434.6%であり、短期、中期共に財務面の安定を保っています。

## (資産)

総資産合計2,190百万円のうち、現金及び預金と有価証券(MMF)が1,363百万円(構成比62.3%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金217百万円(構成比10.0%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)165百万円(構成比7.6%)、投資有価証券162百万円(構成比7.4%)となっています。

## (負債)

負債合計477百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が292百万円(負債及び純資産に対する構成比13.4%)を占めています。

## (純資産)

純資産合計は1,712百万円であり、主な内訳は資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△487百万円、自己株式△95百万円となっています。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、1,363百万円となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、17百万円の支出(前年同期は66百万円の支出)となりました。税金等調整前四半期純損失は35百万円、現金支出を伴わない連結損益計算書上の費用である減価償却費、ソフトウェア償却費、のれん償却額及びその他の償却額が合計21百万円ありました。

また、連結貸借対照表項目の主な増減は以下のとおりでした。

- ・売上債権の増減額(△は増加) 32百万円
- ・未払消費税等の増減額(△は減少) △25百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の収入（前年同期は146百万円の支出）となりました。  
有形固定資産の取得による支出が4百万円あった一方、投資有価証券の売却による収入が5百万円ありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、55百万円の支出（前年同期は62百万円の支出）となりました。  
短期借入金、長期借入金がそれぞれ9百万円、39百万円純減したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成27年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりの進捗をしており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	974,375	901,252
受取手形及び売掛金	250,259	217,933
有価証券	462,309	462,372
商品及び製品	76,268	74,614
仕掛品	63,992	76,756
原材料及び貯蔵品	15,875	14,008
繰延税金資産	6,800	6,800
その他	88,464	76,928
貸倒引当金	△12,149	△11,909
流動資産合計	1,926,195	1,818,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,813	18,908
工具、器具及び備品(純額)	44,430	38,591
有形固定資産合計	65,243	57,500
無形固定資産		
のれん	9,183	6,887
ソフトウェア	19,632	16,653
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	30,063	24,788
投資その他の資産		
投資有価証券	174,512	162,745
その他	147,164	142,244
貸倒引当金	△15,928	△15,928
投資その他の資産合計	305,748	289,060
固定資産合計	401,056	371,349
資産合計	2,327,251	2,190,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,846	84,331
短期借入金	109,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	86,976	85,676
リース債務	1,883	1,929
未払法人税等	8,049	3,774
受注損失引当金	1,000	1,500
その他	116,388	86,712
流動負債合計	411,144	363,924
固定負債		
長期借入金	145,229	106,841
リース債務	2,910	1,934
退職給付に係る負債	2,155	2,216
長期割賦未払金	8,898	2,992
固定負債合計	159,193	113,984
負債合計	570,337	477,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△449,402	△487,856
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,728,264	1,689,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,650	22,100
その他の包括利益累計額合計	28,650	22,100
新株予約権	—	287
純資産合計	1,756,914	1,712,197
負債純資産合計	2,327,251	2,190,107

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,222,734	1,141,748
売上原価	723,221	737,669
売上総利益	499,513	404,078
販売費及び一般管理費合計	564,513	439,236
営業損失(△)	△64,999	△35,157
営業外収益		
受取利息	265	348
受取配当金	900	1,213
受取手数料	169	—
その他	305	288
営業外収益合計	1,640	1,849
営業外費用		
支払利息	4,006	2,703
その他	47	50
営業外費用合計	4,053	2,753
経常損失(△)	△67,413	△36,061
特別利益		
投資有価証券売却益	—	82
特別利益合計	—	82
特別損失		
固定資産除売却損	—	16
事務所移転費用	688	—
特別損失合計	688	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,102	△35,996
法人税、住民税及び事業税	1,484	2,457
法人税等合計	1,484	2,457
四半期純損失(△)	△69,586	△38,454
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,586	△38,454

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△69,586	△38,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,050	△6,550
その他の包括利益合計	13,050	△6,550
四半期包括利益	△56,536	△45,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56,536	△45,004
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,102	△35,996
減価償却費	19,078	10,976
ソフトウェア償却費	8,997	3,476
のれん償却額	7,601	2,295
その他の償却額	11,319	4,920
貸倒引当金の増減額(△は減少)	258	△240
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,200	500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,127	61
受取利息及び受取配当金	△1,165	△1,561
支払利息	4,006	2,703
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△82
固定資産除売却損益(△は益)	—	16
移転費用	688	—
売上債権の増減額(△は増加)	△78,823	32,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,844	△9,243
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,739	11,506
仕入債務の増減額(△は減少)	3,811	△3,515
未払金の増減額(△は減少)	19,419	△8,513
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	917	△434
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,532	△25,728
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△3,648	6,350
その他	—	△135
小計	△65,885	△10,317
利息及び配当金の受取額	1,165	1,561
利息の支払額	△4,019	△2,674
移転費用の支払額	△688	—
法人税等の支払額	△1,821	△9,576
法人税等の還付額	4,414	3,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,835	△17,728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△100,710	—
有形固定資産の取得による支出	△46,418	△4,632
無形固定資産の取得による支出	△383	△514
投資有価証券の売却による収入	—	5,300
短期貸付金の増減額(△は増加)	625	—
長期前払費用の取得による支出	△335	—
敷金及び保証金の回収による収入	418	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,804	152

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△9,000
長期借入れによる収入	45,000	—
長期借入金の返済による支出	△69,618	△39,688
リース債務の返済による支出	△2,907	△930
割賦債務の返済による支出	△14,129	△5,905
新株予約権の発行による収入	—	287
配当金の支払額	△21,214	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,868	△55,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,508	△73,060
現金及び現金同等物の期首残高	1,600,719	1,436,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,324,210	1,363,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリ ューション 事業	ITソリ ューション 事業	ヘルスケア 事業	自己資金運 用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	961,623	167,009	93,630	470	1,222,734	—	1,222,734
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,500	67	—	1,567	△1,567	—
計	961,623	168,509	93,698	470	1,224,302	△1,567	1,222,734
セグメント利益又は損失 (△)	218,128	34,351	△151,568	△684	100,227	△165,227	△64,999

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,227千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金融ソリ ューション 事業	ビジネスソ リューション 事業 (注)1	ヘルスケア 事業	自己資金運 用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	949,082	87,297	105,367	—	1,141,748	—	1,141,748
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,500	30	—	1,530	△1,530	—
計	949,082	88,797	105,398	—	1,143,278	△1,530	1,141,748
セグメント利益又は損失 (△)	257,706	△37,910	△95,719	△1,208	122,867	△158,025	△35,157

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、従来「ITソリューション事業」としていた報告セグメントから、「ビジネスソリューション事業」に名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△158,025千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。